

【特許請求の範囲】

【請求項1】 エレベータのかご室の壁面を構成する側板の内面に装飾板が添着されたエレベータのかご室において、側面に爪が突設された突起部を有し、この突起部を上記かご室内に向けて上記装飾板の端縁部に沿って配置されて上記側板に取り付けられた目地取付具と、切込みが割設された掛止部を上記突起部と掛合させることによって上記目地取付具に取り付けられて上記装飾板の上記端縁部と上記目地取付具の双方を覆う形状を有した装飾目地とを備えたエレベータのかご室。

【請求項2】 目地取付具は、爪を外側に向けて対峙する一対のフランジ部からなる突起部と、上記各フランジ部の一端を橋絡する連結部とからなる断面コ字状の部材からなり、この部材を、開口がかご室内に向くように装飾板の端縁部に沿って配置されて上記連結部が上記側板に取り付けられたものとし、装飾目地は、切込みが割設された側面を対向させて対峙する一対の掛止部を備えた部材からなり、上記掛止部に上記目地取付具の上記フランジ部を内挿させて上記爪と上記切込みとを掛合させることにより上記目地取付具に取り付けられて上記装飾板の上記端縁部と上記目地取付具の双方を覆うものとした請求項1に記載のエレベータのかご室。

【請求項3】 目地取付具は、爪を対向させて対峙する一対のフランジ部からなる突起部と、上記各フランジ部の一端を橋絡する連結部とからなる断面コ字状の部材からなり、この部材を、開口がかご室内に向くように装飾板の端縁部に沿って配置されて上記連結部が上記側板に取り付けられたものとし、装飾目地は、切込みが割設された側面を外側へ向けて対峙する一対の掛止部を備えた部材からなり、上記掛止部を上記目地取付具の上記フランジ部に内挿して上記爪と上記切込みとを掛合させることにより上記目地取付具に取り付けられて上記装飾板の上記端縁部と上記目地取付具の双方を覆うものとした請求項1に記載のエレベータのかご室。

【請求項4】 目地取付具は、隣接する側板を互いに接続する継目部を避けた位置で上記側板に螺着するねじによって上記側板に取り付けられるものとした請求項2及び3に記載のエレベータのかご室。

【請求項5】 目地取付具は、隣接する側板を互いに接続する継目部に介在する落とし目地に螺着するねじによって上記側板に取り付けられるものとした請求項2及び3に記載のエレベータのかご室。

【請求項6】 目地取付具は、側板に接着されるものとした請求項2及び3に記載のエレベータのかご室。

【請求項7】 目地取付具は、同一平面を形成する側板に所定距離を隔てて添着された複数の装飾板相互間の上記離隔部分で上記側板に取り付けられたものとし、装飾目地は、上記目地取付具に取り付けられて隣接する上記装飾板の両端縁部と上記目地取付具とを覆うものとした請求項1に記載のエレベータのかご室。

【請求項8】 目地取付具は、互いに直交する両側板に上記交叉部から所定距離を隔てて添着された装飾板と上記交叉部の間で上記側板に取り付けられたものとし、装飾目地は、上記目地取付具に取り付けられて直交する両側板に添着された上記装飾板の両端縁部と上記目地取付具とを覆う形状を有するものとした請求項1に記載のエレベータのかご室。

【請求項9】 目地取付具は、装飾板の端縁部に沿って全高に亘って連続して配置されて上記側板に取り付けられたものとした請求項1に記載のエレベータのかご室。

【請求項10】 目地取付具は、装飾板の端縁部に沿って分散して配置されて上記側板に取り付けられたものとした請求項1に記載のエレベータのかご室。

【請求項11】 目地取付具の突起部には爪又は切込みが形成され、装飾目地の掛止部には上記爪又は切込みと係合する切込み又は爪が形成され、かつ、上記爪及び切込みのうち、少なくともいずれか一方を多段としたことを特徴とする請求項1に記載のエレベータのかご室。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、エレベータのかご室の側板に新たな意匠を施した装飾板を添着し、この装飾板の端縁部を装飾目地で覆い隠すようにしたかご室に係る。

【0002】

【従来の技術】図8及び図9は、実開平6-6366号公報によって開示されたものと同様の従来のエレベータのかご室1を示す。かご室1はかご床2に側板4が立設されて継目部4bで緊締具4aによって相互に連結され、かご戸1aによって出入口を開閉するようになっている。また、側板4には意匠が施されており、この意匠は、当初は高級感を感じさせるが、時の経過と共にその高級感が薄れていく。そこで、新たな意匠を施した装飾板82を側板4に添着することにより、かご室1の高級感を取り戻すことが行われている。この場合、意匠性を向上させるために、装飾板82の端縁部を表面目地83で覆い、この表面目地83と側板4をリベット84で挟持している。

【0003】図10は、特開平10-291754号公報に記載されたものと同様の他の従来のかご室1を示し、装飾板82の端縁に沿って側板4に目地取付具97を皿ねじ98及びナット99で固着し、この目地取付具97に表面目地100を皿ねじ101で取り付けただのである。このとき、表面目地100と装飾板82の端縁部の表面とは隙間L1を隔てている。このため、装飾板82の端縁部の厚みにばらつきがあったとしても、隙間L1内で収まる程度ならば、装飾板82の端縁部を支障なく覆うことができる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来のエレベータのか

ご室は上記のとおり構成されているで、図9ではリベット84の頭が、また、図10では皿ねじ101の頭が表面に現れ、美観を損なう、という問題があった。

【0005】また、図10に示すものは、目地取付具97の厚さを一定とし、隙間L1で装飾板82の端縁部の厚みのばらつきを吸収するようにしたものであるが、上記ばらつきを事前に予測することは容易ではない。このため、隙間L1を越えるばらつきの場合は、厚さを増した目地取付具97に取り替えなければならず、作業性が悪い、という問題もあった。

【0006】この発明は、上記問題点を解決するもので、かご室の内側にはねじ類が現れないようにして、美観を向上させると共に装飾板の厚さにばらつきがあったとしても、容易に対処することができるエレベータのかご室を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】請求項1に係るエレベータのかご室は、側面に爪が突設された突起部を有する目地取付具を装飾板の端縁部に沿って側板上に配設し、切込みが割設された掛止部を有する装飾目地を、切込みと爪を掛合させることによって目地取付具に取り付けて、装飾板の端縁部と目地取付具の双方を覆うようにしたものである。

【0008】請求項2に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、爪を外側に向けて対峙する一对のフランジ部からなる突起部を有するものとし、この突起部をかご室内に向けて装飾板の端縁部に沿って側板上に目地取付具を配置し、装飾目地を、切込みが割設された側面を対向させて対峙する一对の掛止部を備えたものとし、この掛止部に目地取付具のフランジ部を内挿させて爪と切込みとを掛合させることにより、装飾目地を目地取付具に取り付けて装飾板の端縁部と目地取付具の双方を覆うようにしたものである。

【0009】請求項3に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、爪を対向させて対峙する一对のフランジ部からなる突起部を有するものとし、この突起部をかご室内に向けて装飾板の端縁部に沿って側板上に目地取付具を配置し、装飾目地を、切込みが割設された側面を外側へ向けて対峙する一对の掛止部を備えたものとし、この掛止部を目地取付具のフランジ部に内挿して爪と切込みとを掛合させることにより装飾目地を目地取付具に取り付けて装飾板の端縁部と目地取付具の双方を覆うようにしたものである。

【0010】請求項4に係るエレベータのかご室は、請求項2及び請求項3に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、側板に螺着するねじによって取り付けられるようにしたものである。

【0011】請求項5に係るエレベータのかご室は、請

求項2及び請求項3に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、隣接する側板との継目部に介在する落し目地に螺着するねじによって取り付けられるようにしたものである。

【0012】請求項6に係るエレベータのかご室は、請求項2及び請求項3に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、接着によって側板に取り付けられるようにしたものである。

【0013】請求項7に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、同一平面を形成する側板に所定距離を隔てて添着された複数の装飾板相互間の離隔部分で側板に取り付けられるものとし、装飾目地を、目地取付具に取り付けられて隣接する装飾板の両端縁部と目地取付具とを覆うようにしたものである。

【0014】請求項8に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、互いに直交する両側板に交叉部から所定距離を隔てて添着された装飾板と交叉部の間で側板に取り付けられるものとし、装飾目地を、目地取付具に取り付けられて直交する両側板に添着された装飾板の両端縁部と目地取付具とを覆うようにしたものである。

【0015】請求項9に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、装飾板の端縁部に沿って連続して配置されて側板に取り付けられるようにしたものである。

【0016】請求項10に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、装飾板の端縁部に沿って分散して配置されて側板に取り付けられるようにしたものである。

【0017】請求項11に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具の突起部には爪又は切込みが形成されたものとし、装飾目地の掛止部には、上記突起部と掛合する切込み又は爪が設けられたものとし、かつ、爪又は切込みのうち、少なくともいずれか一方を多段にしたものである。

【0018】

【発明の実施の形態】実施の形態1. 図1及び図2は、この発明の実施の形態1を示す。図において、1はかご室、2はかご床、3はかご床2から立設された幅木、4はかご室1の壁面を構成する側板、4aは隣接する側板4を互いに接続する継目部4bで両者を緊締するボルトとナットからなる緊締具、5は新たな意匠が施されて側板4の内面に添着された複数の装飾板で、端縁5aが側板4の継目部4bを避けた位置となり、かつ、隣接するものとの間に所定距離を隔てて配置される。

【0019】6はこの装飾板5を側板1に添着するための接着板、7は爪9aを外側に向けて対峙する一对のフランジ部9からなる突起部8と、上記各フランジ部9の一端を互いに橋絡する連結部10とからなる断面コ字状

10

20

30

40

50

の部材からなる目地取付具で、開口をかご室1内に向けて装飾板5の端縁部5aに沿って全高に亘って連続して配置されて連結部10が側板4に取り付けられる。11は目地取付具7の連結部10を貫通して側板4に螺着し、目地取付具7を側板4に取り付けるねじである。

【0020】12は鞍形の形状を有し、傾斜した左右両側の目地16及び17で装飾板5の端縁部5aを、中央目地15で目地取付具7を覆う装飾目地で、切込み14が多段に割設された掛止部13を突起部8と掛合させることによって目地取付具7に取り付けられる。

【0021】上記実施の形態1によれば、同一平面上に配列された側板4に所定距離を隔てて添着された複数の装飾板5相互間の離隔部分で装飾目地12が目地取付具7に取り付けられて隣接する装飾板5の両端縁部5aと目地取付具7とを覆うようにしたので、かご室1内の意匠性を向上させることができる。

【0022】特に、側板4に取り付けるねじ11は、装飾目地12によって隠蔽されて外部からは目視できないので、美観を損なうことがない。また、装飾目地12は、目地取付具7に爪9と切込み14とを掛止させることによって取り付けられるので、取付ねじは使用されない。このため、ねじが装飾目地12の表面に露出することとはなく、美観を更に向上させることができる。

【0023】更に、装飾目地12の掛止部13に割設された切込み14を多段としたので、装飾板5の厚さが変化した場合は、爪9aとの掛止部位を変化させることによって容易に解消することができ、柔軟な対処が可能となる。更にまた、目地取付具7を、装飾板5の端縁部5aに沿って全高に亘って連続して配置して側板4に取り付けたので、装飾目地12を目地取付具7に強固に取り付けることができる。

【0024】実施の形態2. 図3は、実施の形態3を示し、図中、図2と同符号は同一部分を示す。実施の形態1では、側板4の継目部4bを避けた位置で目地取付具7を側板4に取り付けるようにしたが、この実施の形態2では、側板4の継目部4bに介在する落し目地18にねじ19を螺着させて、目地取付具7を側板4に取り付けるようにしたものである。

【0025】上記実施の形態2によっても、実施の形態1と同様にかご室1の美観を向上させることができると共に、継目部4bの落し目地18にねじ19を螺着させて目地取付具7を取り付けるようにしたので、装飾板5の幅寸法を側板4と略同等にすることができ、それまでかご室1の側壁として室内を装飾した側板4に比べて装飾板5の大きさに対する違和感を軽減することができる。

【0026】実施の形態3. 図4は、実施の形態3を示し、図中、図2と同符号は同一部分を示す。上記実施の形態1及び2では、装飾板5は、いずれも同一平面上に配列された側板4に取り付けられるものとしたが、この

実施の形態3では、側板4と側板24は互いに直交し、装飾板25は接着板26によって側板24に添着されている。両装飾板5及び25は、両側板4及び24の交叉継目部24bから所定距離を隔てて添着されており、目地取付具7は、装飾板5の添着域外で側板4に取り付けられている。

【0027】装飾目地32は、切込み34が割設された掛止部33を突起部8と掛合させることによって目地取付具7に取り付けられ、L字状に屈曲した形状をした目地部分のうち、傾斜した右側目地36で装飾板5の端縁部5aを、中央目地35で目地取付具7を覆い、屈曲目地37で装飾板25の端縁部25aを覆っている。

【0028】上記実施の形態3によれば、互いに直交する側板4と側板24に、それぞれ装飾板5と装飾板25が添着された場合でも、目地部分がL字状に屈曲した装飾目地32によってそれぞれの端縁部5a及び25aを覆ったので、実施の形態1と同様にかご室1内の意匠性を向上させることができる。また、側板4に取り付けるねじ11は、装飾目地32によって隠蔽されて外部からは目視できないので、美観を損なうことがない。

【0029】実施の形態4. 図5は、実施の形態4を示し、図中、図2と同符号は同一部分を示す。この実施の形態4は、装飾目地42は右側目地46で一の装飾板5の端縁部5aを覆い、中央目地45で目地取付具7を覆って、切込み44が割設された掛止部43を突起部8と掛合させることによって目地取付具7に取り付けられる。

【0030】上記実施の形態4によっても、最終の装飾板5の端縁部5aを覆ったので、実施の形態1と同様にかご室1内の意匠性を向上させることができる。また、側板4に取り付けるねじ11は、装飾目地32によって隠蔽されて外部からは目視できないので、美観を損なうことがない。更に、装飾板5の厚さが変化した場合は、爪9aと切込み44との掛合部位を変えることによって容易に対応することができる。

【0031】実施の形態5. 図6は、実施の形態5を示し、図中、図2と同符号は同一部分を示す。上記実施の形態1～4では、装飾目地12、32及び42は、それぞれ掛止部13、33及び43に目地取付具7の突起部8を内挿させて目地取付具7に取り付けられるようにしたが、この実施の形態5では、装飾目地62の掛止部63を目地取付具57の突起部58に内挿して目地取付具57に装飾目地62を取り付けるようにしたものである。即ち、目地取付具57は爪59aを内側に向けて対峙する一対のフランジ部59からなる突起部58と、上記各フランジ部59の一端を互いに橋絡する連結部60とからなる断面コ字状の部材からなり、連結部60が皿ねじ61によって側板4に取り付けられる。

【0032】また、装飾目地62は、左右両側にはみ出した右側目地66及び左側目地67で装飾板5の端縁部

10

20

30

40

50

5aを、中央目地65で目地取付具57を覆うと共に、切込み64が割設された側面を外側へ向けて対峙する一対の掛止部63を備えた部材からなり、掛止部63を目地取付具57の突設部58に内挿して爪59と切込み64とを掛合させることにより目地取付具62に取り付けられて装飾板5の端縁部5aと目地取付具57の双方を覆うようにしたものである。

【0033】上記実施の形態5によっても、上記実施の形態1と同様に美観を向上させることができると共に、掛止部63を突起部58に内挿させたので、装飾板5間の10 間隙の狭隘化と相俟って装飾目地62の幅を狭小化することができる、この狭小化によっても美観の向上を図ることができる。

【0034】実施の形態6、図7は、実施の形態6を示し、図中、図2と同符号は同一部分を示す。上記実施の形態1では、目地取付具7は装飾板5の高さに相当する長さを有する、としたが、この実施の形態6では、目地取付具77は短小な長さに切断されたものである。この目地取付具77を装飾板5の端縁部5aに沿って離隔して配置して側板4に取り付け、装飾目地12を橋設した20 ものである。従って、装飾目地12は、装飾板5の端縁部5aの全高に相当する長さを有するが、固定されるのは目地取付具77対応部位に限られる。

【0035】上記実施の形態6によっても、上記実施の形態1と同様に美観を向上させることができると共に、目地取付具77間では、装飾目地12は浮いた状態となるので、装飾板5の厚さの変化又はばらつきに対しては、各目地取付具77毎に爪9aと切込み14の掛合度合いを変えることによって容易に対応できる。

【0036】なお、上記実施の形態1～6では、目地取付具はいずれも側板4にねじ止めされるものとしたが、30 接着材で固着してもよい。また、爪9a及び59aは単一としたが、多段であってもよい。多段にすることによって、多段の切込み14、34、44及び64と複数箇所掛合し、装飾目地を目地取付具により強固に取り付けることができる。更に、切込み14、34、44及び64は多段としたが、単一であってもよい。これにより、装飾目地12、42及び62の着脱が容易になる。更にまた、爪9a及び59aは突起部8及び58に、また、切込み14、34、44及び64は掛止部13、33、43及び63に設けられるものとしたが、逆に突起部8及び58に切込みを割設し、掛止部13、33、43及び63に爪を突設してもよい。

【0037】

【発明の効果】この発明は上記のとおり構成されているので、以下の効果を奏する。請求項1に係るエレベータのかご室は、側面に爪が突設された突起部を有する目地取付具を装飾板の端縁部に沿って側板上に配設し、切込みが割設された掛止部を有する装飾目地を、切込みと爪を掛合させることによって目地取付具に取り付けて、装40

飾板の端縁部と目地取付具の双方を覆うようにしたものである。このため、装飾板の端縁部が隠蔽されるので、かご室の意匠性を向上させることができると共に、特に、側板に取り付けるねじは、装飾目地によって隠蔽されて外部からは目視できないので、美観を損なうことがない、という効果を奏する。更に、装飾目地は、目地取付具に爪と切込みとを掛合させることによって取り付けられるので、取付ねじは使用されない。このため、ねじが外部に露出することはなく、美観を更に向上させることができる、という効果も併せて奏する。

【0038】請求項2に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、爪を外側に向けて対峙する一対のフランジ部からなる突起部を有するものとし、この突起部をかご室内に向けて装飾板の端縁部に沿って側板上に目地取付具を配置し、装飾目地を、切込みが割設された側面を対向させて対峙する一対の掛止部を備えたものとし、この掛止部に目地取付具のフランジ部を内挿させて爪と切込みとを掛合させることにより装飾目地を目地取付具に取り付けて装飾板の端縁部と目地取付具の双方を覆うようにしたものである。このものにあっても、上記請求項1に係るエレベータのかご室と同様の効果を奏する。

【0039】請求項3に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、爪を対向させて対峙する一対のフランジ部からなる突起部を有するものとし、この突起部をかご室内に向けて装飾板の端縁部に沿って側板上に目地取付具を配置し、装飾目地を、切込みが割設された側面を外側へ向けて対峙する一対の掛止部を備えたものとし、この掛止部を目地取付具のフランジ部に内挿して爪と切込みとを掛合させることにより装飾目地を目地取付具に取り付けて装飾板の端縁部と目地取付具の双方を覆うようにしたものである。このため、請求項1と同様の効果を奏すると共に、装飾板間の間隙の狭隘化と相俟って装飾目地の幅を狭小化することができ、この狭小化による美観の向上を図ることができる、という効果も併せて奏する。

【0040】請求項4に係るエレベータのかご室は、請求項2及び請求項3に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、側板に螺着するねじによって取り付けようにしたものである。このため、目地取付具を強固に取り付けることができる、という効果を奏する。

【0041】請求項5に係るエレベータのかご室は、請求項2及び請求項3に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、隣接する側板との継目部に介在する落し目地に螺着するねじによって取り付けられるようにしたものである。このため、装飾板の幅寸法を側板と略同等にすることができるので、それまで、かご室の側壁を構成してきた側板に比べて、装飾板の大きさに対する違和感を軽減することができる、という効果を奏する。

【0042】請求項6に係るエレベータのかご室は、請

請求項2及び請求項3に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、接着によって側板に取り付けられるようにしたものである。このため、側板にねじ穴を穿設する必要がなく、作業が容易である、という効果を奏する。

【0043】請求項7に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、同一平面を形成する側板に所定距離を隔てて添着された複数の装飾板相互間の離隔部分で側板に取り付けられるものとし、装飾目地を、目地取付具に取り付けられて隣接する装飾板の両端縁部と目地取付具とを覆うようにしたものである。このため、同一平面上のかご室の側壁の美観を向上させることができる、という効果を奏する。

【0044】請求項8に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、互いに直交する両側板に交叉部から所定距離を隔てて添着された装飾板と交叉部の間で側板に取り付けられるものとし、装飾目地を、目地取付具に取り付けられて直交する両側板に添着された装飾板の両端縁部と目地取付具とを覆うようにしたものである。このため、側板が直交する部分のかご室の側壁の美観を向上させることができる、という効果を奏する。

【0045】請求項9に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、装飾板の端縁部に沿って連続して配置されて側板に取り付けたものである。このため、装飾目地を全高に互って目地取付具と掛合させて強固に取り付けることができる、という効果を奏する。

【0046】請求項10に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具を、装飾板の端縁部に沿って分散して配置されて側板に取り付けられるようにしたものである。このため、装飾板の厚さの変化又はばらつきに対して、各目地取付具ごとに爪と切込みの掛合度合いを変化させることによって容易に対応することができる、という効果を奏する。

【0047】請求項11に係るエレベータのかご室は、請求項1に記載のエレベータのかご室において、目地取付具の突起部には爪又は切込みが形成されたものとし、装飾目地の掛止部には、上記突起部と掛合する切込み又

は爪が設けられたものとし、かつ、爪又は切込みのうち、少なくともいずれか一方を多段にしたものである。このため、装飾板の厚さが変化した場合でも、爪と切込みとの掛合位置を変化させることによって容易に対応することができる、という効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明の実施の形態1におけるエレベータのかご室の一部を示す斜視図。

【図2】 図1のI-I断面を矢視した断面図。

【図3】 この発明の実施の形態2におけるエレベータのかご室の部分断面図。

【図4】 この発明の実施の形態3におけるエレベータのかご室の部分断面図。

【図5】 この発明の実施の形態4におけるエレベータのかご室の部分断面図。

【図6】 この発明の実施の形態5におけるエレベータのかご室の部分断面図。

【図7】 この発明の実施の形態6におけるエレベータのかご室の一部を示す斜視図。

【図8】 従来のエレベータのかご室の横断面図。

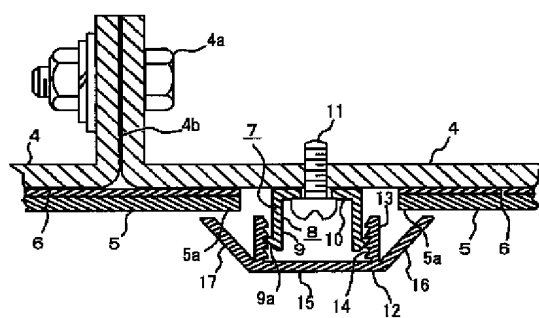
【図9】 従来のエレベータのかご室の部分断面図。

【図10】 従来のエレベータのかご室の部分断面図。

【符号の説明】

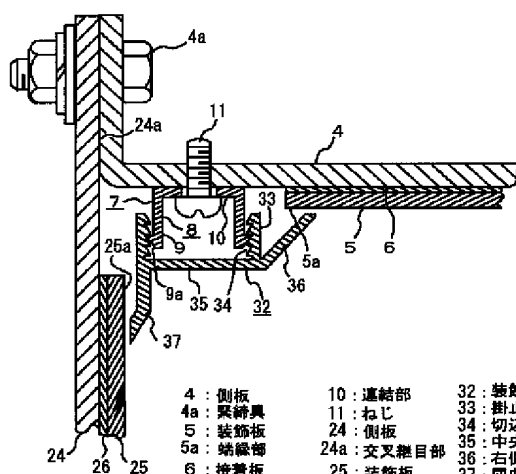
1 かご室、 2 かご床、 3 幅木、 4 側板、
4a 緊締具、 4b 継目部、 5 装飾板、 5a 端縁部、 6 接着板、 7 目地取付具、 8 突起部、 9 フランジ部、 9a 爪、 10 連結部、 11 ねじ、 12 装飾目地、 13 掛止部、 14 切込み、 15 中央目地、 16 右側目地、 17 左側目地、 18 落し目地、 19 ねじ、 24 側板、 24a 交叉継目部、 25 そう縮板、 25a 端縁部、 26 接着板、 32 装飾目地、 33 掛止部、 34 切込み、 35 中央目地、 36 左側目地、 37 屈曲目地、 42 装飾目地、 43 掛止部、 44 切込み、 45 中央目地、 46 左側目地、 47 右側目地、 57 目地取付具、 58 突起部、 59 フランジ部、 59a 爪、 60 連結部、 61 皿ねじ、 62 装飾目地、 63 掛止部、 64 切込み、 65 中央目地、 66 左側目地、 67 右側目地、 77 目地取付具。

【图2】



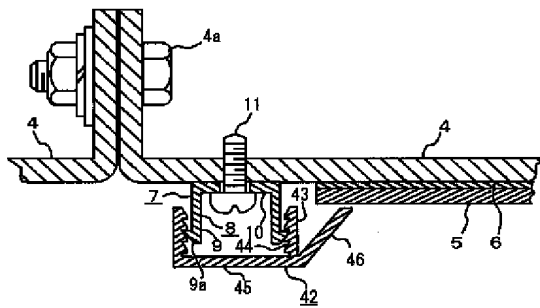
- 1 : かご室
2 : かご床
3 : 幅木
4 : 側板
4b : 経目部
5 : 装飾板
6 : 接着板
7 : 目地取付具
12 : 装飾目地

【例4】



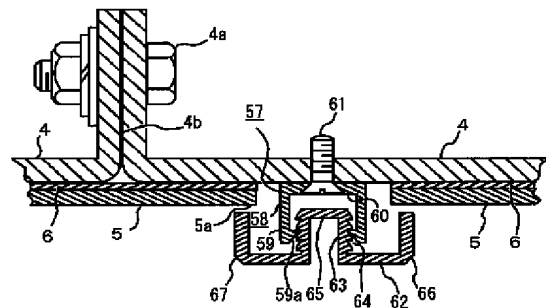
- | | | |
|-----------|-------------|-----------|
| 4 : 側板 | 10 : 連結部 | 32 : 裝飾目地 |
| 4a : 裝飾具 | 11 : ねじ | 33 : 掛止部 |
| 5 : 裝飾板 | 24 : 側板 | 34 : 切込み |
| 5a : 端縁部 | 24a : 交叉継目部 | 35 : 中央目地 |
| 6 : 接合板 | 25 : 裝飾板 | 36 : 右側目地 |
| 7 : 目地取付具 | 25a : 端縁部 | 37 : 屈曲目地 |
| 8 : 突起部 | 26 : 接合板 | |
| 9 : フランジ部 | | |
| 9a : 爪 | | |

【図5】



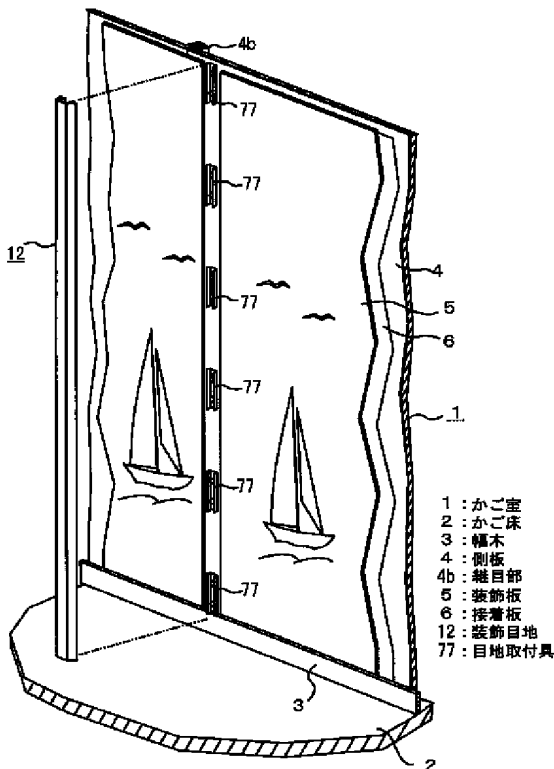
- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 4 : 側板 | 7 : 目地取付具 | 42 : 装飾目地 |
| 4a : 緊締具 | 8 : 突起部 | 43 : 掛止部 |
| 4b : 継目部 | 9 : フランジ部 | 44 : 切込み |
| 5 : 装飾板 | 9a : 爪 | 45 : 中央目地 |
| 5a : 端縁部 | 10 : 連結部 | 46 : 右側目地 |
| 6 : 接着板 | 11 : ねじ | |

【図6】



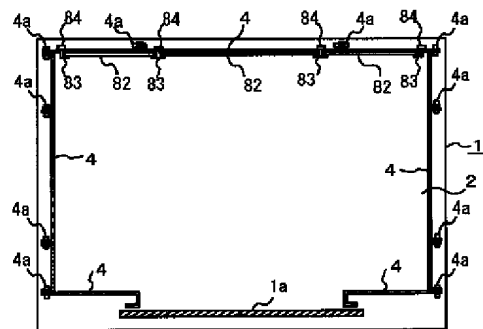
- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 4 : 側板 | 58 : 突起部 | 64 : 切込み |
| 4a : 緊締具 | 59 : フランジ部 | 65 : 中央目地 |
| 4b : 継目部 | 59a : 爪 | 66 : 右側目地 |
| 5 : 装飾板 | 60 : 連結部 | 67 : 左側目地 |
| 5a : 端縁部 | 61 : 皿ねじ | |
| 6 : 接着板 | 62 : 装飾目地 | |
| 57 : 目地取付具 | 63 : 掛止部 | |

【図7】



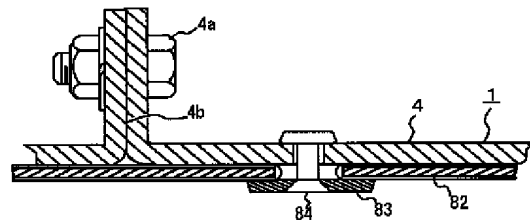
- | |
|------------|
| 1 : かご室 |
| 2 : かご床 |
| 3 : 幅木 |
| 4 : 側板 |
| 4b : 継目部 |
| 5 : 装飾板 |
| 6 : 接着板 |
| 12 : 装飾目地 |
| 77 : 目地取付具 |

【図8】



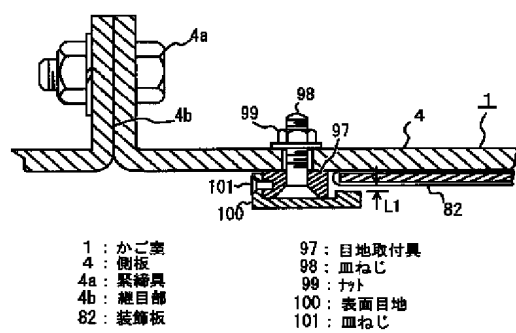
- | | |
|----------|-----------|
| 1 : かご室 | 4a : 緊締具 |
| 1a : かご床 | 82 : 装飾板 |
| 2 : かご床 | 83 : 表面目地 |
| 4 : 側板 | 84 : フラット |

【図9】



- | | |
|----------|-----------|
| 1 : かご室 | 82 : 装飾板 |
| 4a : 緊締具 | 83 : 表面目地 |
| 4 : 側板 | 84 : フラット |
| 4b : 継目部 | |

【図10】



PAT-NO: JP02002265171A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002265171 A
TITLE: CAGE FOR ELEVATOR
PUBN-DATE: September 18, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
YAMAMURA, HITOSHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
mitsubishi electric building techno service co ltd	N/A

APPL-NO: JP2001068707
APPL-DATE: March 12, 2001

INT-CL (IPC): B66B011/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a cage 1 for an elevator with improved appearance by concealing screws on the inside of a cage 1.

SOLUTION: A Joint fixture 7 having protrusion parts 8 protrudedly provided with pawls 9a in side faces is arranged on a side plate 4 along an end rim part 5a of a decorative plate 5, and a decorative joint 12 having latch parts 13 dividedly provided with slits 14 is attached to the joint fixture 7 by latching the slits 14 and the pawls 9a

to cover both the end rim part 5a of the decorative plate 5 and the joint fixture 7.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO